

編集後記

中国北京にある對外經濟貿易大学と東京經濟大学は1984年に學術教育交流を締結して以来、教員交換、学生交換をはじめとした多彩な交流を行ってきた。その交流30周年を記念して、2016年6月6日（月）、7日（火）の2日間にわたって學術フォーラムが開催された。

共通テーマ「中国と日本 新たな時代を見据えて—文化・文学，経済，環境・エネルギー，その課題と展望—」の下に，両大学の代表者による「グローバル時代の大学教育」という2つの講演を皮切りに，「中国と日本の文化・文学交流」，「中国と日本が直面する経済の課題」，「中国と日本が抱える環境・エネルギー問題」と題した3つのフォーラムが開催された。2日間で延べ460名の来場があり，報告者間のディスカッションやフロアからの活発な質疑応答もあり，交流30周年を飾るにふさわしい盛況であった。

その學術フォーラムの内容は以下の通りであった。

2016年6月6日（月）

I. 両大学代表者による講演（13:00～14:00）

「グローバル時代の大学教育」

趙 忠秀 對外經濟貿易大学 副学長

堺 憲一 東京經濟大学 学長

II. フォーラム

1. 「中国と日本の文化・文学交流」（14:15～16:15）

司会者：手塚 眞 教授（東京經濟大学）

郭 徳玉 准教授（對外經濟貿易大学）

「中国の大学における学部日本語教育モデルの新たな変化：對外經濟貿易大学の現状に基づいて」

趙 力偉 准教授（對外經濟貿易大学）

「藤原俊成と『白氏文集』」

村上 勝彦 名誉教授（東京經濟大学）

「京劇と漢籍をめぐる日中文化交流—大倉喜八郎の関わりにもふれて—」

大岡 玲 教授（東京經濟大学）

「中国文学の日本への影響」

パネルディスカッション，質疑応答

2016年6月7日

II. フォーラム

2. 「中国と日本が直面する経済の課題」(10:00~12:00)

司会者：羅 歆鎮 教授 (東京経済大学)

井上 裕行 教授 (東京経済大学)

「日本経済が直面する課題と今後の展望」

岡本 英男 教授 (東京経済大学)

「日本の「失われた20年」における財政政策の評価」

龔 炯 教授 (対外経済貿易大学)

「電気自動車のポータブル・モジュラー電池の最適サイズ」

趙 忠秀 教授 (対外経済貿易大学)

「中国経済の成長と構造調整」

パネルディスカッション、質疑応答

3. 「中国と日本が抱える環境・エネルギー問題」(14:15~16:15)

司会者：片岡 直樹 教授 (東京経済大学)

磯野 弥生 教授 (東京経済大学)

「日本における公害・環境問題の現状と課題」

小林 健一 教授 (東京経済大学)

「日本のエネルギー政策：原子力政策を中心として」

劉 慶彬 准教授 (対外経済貿易大学)

「4兆元とスモッグ：投資とCO₂と大気汚染」

呉 丹紅 准教授 (対外経済貿易大学)

「グリーンボンドの国際比較研究」

パネルディスカッション、質疑応答

本記念論文集は、学術フォーラムの報告者に呼びかけて、フォーラムでの報告内容またはそれを発展させた論稿を執筆して下さるよう本編集委員会が依頼したことから発している。幸い、多忙な時期にもかかわらず多くの報告者が寄稿して下さった。また、フォーラムで司会を担当して下さった羅教授と片岡教授も本論文集刊行の趣旨を理解して下さり、フォーラムのテーマに即した論稿を執筆して下さった。

さらに、本学の受入交換教員として2015年秋から一年間本学に滞在されていた石小軍対外経済貿易大学教授は、国際交流講演会(2016年4月27日)での報告「中国と日本におけるチョーサー研究の歴史・現状・展望について」を発展させた論稿執筆をお願いしたところ、

その呼びかけに快く応じて下さり、英語論文を寄稿して下さいました。

最後に、本学術論文集の刊行に向けて尽力して下さいました国際交流課の大日方美穂課長、孫文婷さん、研究課の野島明雄さんに心より感謝を申し上げます。

対外経済貿易大学と東京経済大学交流 30 周年記念学術論文集 編集委員会

編集委員長 岡本 英男